

数値の評価について ① ～式変形から多項式近似まで～

吉田 信夫

大学への数学 10年1月号 掲載

東大、京大などの入試問題では、何らかの関係式を利用して数値を評価するものがある（「概算」でなく、「評価」）。特に2009年の東大（理科）において顕著であった。

ここで、数値評価の手段を大雑把に分類すると、

I) 式変形などの工夫（根性？）による評価

II) 多項式による評価

III) その数値に収束する数列による評価

である。東大の問題を通じて、これらを確認しよう。

問題 1. (1) 実数 x が $-1 < x < 1$, $x \neq 0$ をみたすとき、次の不等式を示せ。

$$(1-x)^{\frac{1}{x}} < (1+x)^{\frac{1}{x}}$$

(2) 次の不等式を示せ。

$$0.9999^{101} < 0.99 < 0.9999^{100}$$

問題 2. $e^\pi > 21$ を示せ。ただし、 $\pi = 3.14\dots\dots$ は円周率、 $e = 2.71\dots\dots$ は自然対数の底である。

問題 3. $\sin \alpha = \frac{1}{1000}$, $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ のとき、

$$\sin \frac{5\alpha}{2} < \frac{3\sqrt{3}}{2000} \text{ が成り立つことを示せ。}$$

問題 4. 円周率が3.05より大きいことを証明せよ。

問題 1, 4 は順に、2009年第5問、2003年第6問である。**問題** 2, 3 はそれぞれ1999年第6問、2009年第6問の解答過程で現れる評価である。

問題 1. (1) は(関数)^(関数)なので、 \log をとれば示せる。(2) では、(1) の x に何を代入するかを考える。

解 (1) $-1 < x < 1$ より、示すべき式対数の対数をとることができるので、

$$\left(1 - \frac{1}{x}\right) \log(1-x) < \frac{1}{x} \log(1+x)$$

を示せば良い。 $-1 < x < 1$ において

$$f(x) = \log(1+x) + (1-x)\log(1-x)$$

とおくと、示すべき式は、両辺に x をかけることで、

$$f(x) > 0 \quad (x > 0), \quad f(x) < 0 \quad (x < 0)$$

となる。ゆえに、これを示せば良い。

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{1}{1+x} + (-1)\log(1-x) + (1-x)\frac{-1}{1-x} \\ &= \frac{1}{1+x} - \log(1-x) - 1, \end{aligned}$$

$$f''(x) = -\frac{1}{(1+x)^2} - \frac{-1}{1-x} = \frac{x(x+3)}{(1-x)(1+x)^2}$$

x	-1	\dots	0	\dots	1
$f''(x)$	$/$		$-$	0	$+$
$f'(x)$	$/$	\searrow	0	\nearrow	$/$

$$\therefore f'(x) \geq 0 \quad (-1 < x < 1)$$

より、 $f(x)$ は単調増加する。 $f(0) = 0$ より、

$$f(x) > 0 \quad (x > 0), \quad f(x) < 0 \quad (x < 0)$$

が成り立つ。以上で示された。

(2) (1) において、 $x = 0.01 = \frac{1}{100}$ としたら、

$$\left(1 - \frac{1}{100}\right)^{1-100} < \left(1 + \frac{1}{100}\right)^{100}$$

となり、両辺に $\left(1 - \frac{1}{100}\right)^{100}$ をかけると、

$$\left(1 - \frac{1}{100}\right)^{1-100} \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{100} < \left(1 + \frac{1}{100}\right)^{100} \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{100}$$

$$\Leftrightarrow 1 - \frac{1}{100} < \left(1 - \frac{1}{10000}\right)^{100}$$

$$\therefore 0.99 < 0.9999^{100}$$

となり、右半分は示された。

(1) において、 $x = -0.01 = -\frac{1}{100}$ としたら、

$$\left(1 + \frac{1}{100}\right)^{1+100} < \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{-100}$$

となり、両辺に $\left(1 - \frac{1}{100}\right)^{101}$ をかけると、

$$\left(1 + \frac{1}{100}\right)^{1+100} \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{101} < \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{-100} \left(1 - \frac{1}{100}\right)^{101}$$

$$\Leftrightarrow \left(1 - \frac{1}{10000}\right)^{101} < 1 - \frac{1}{100}$$

$$\therefore 0.9999^{101} < 0.99$$

となり、左半分も示された。

*

*

集中講義～数値の評価～

“Ⅰ)”に必要なものは「想像力」「逆算する力」と「代入する決断力」であろうか。同様の形式は…

⇒注 この作業を限りなく繰り返すと、 $\sqrt{111}$ に収束する。これが“Ⅲ)”の考え方である。

例題 (1) 2つの正の実数 a, b ($a < b$) に対し、次の不等式を示せ。

$$\frac{2ab}{a+b} < \sqrt{ab} < \frac{a+b}{2}$$

(2) 次の不等式を示せ。

(i) $\frac{1221}{116} < \sqrt{111} < \frac{116}{11}$

(ii) $\frac{283272}{26887} < \sqrt{111} < \frac{26887}{2552}$

(2008年奈良女子大(一部改題))

解 (1) $a > 0, b > 0, a < b$ より、

$$\frac{a+b}{2} - \sqrt{ab} = \frac{(\sqrt{b} - \sqrt{a})^2}{2} > 0$$

$$\therefore \frac{a+b}{2} > \sqrt{ab}$$

であり、右半分は示された。 a, b を $\frac{1}{b}, \frac{1}{a}$ に変えると、

$$\frac{\frac{1}{b} + \frac{1}{a}}{2} > \sqrt{\frac{1}{b} \cdot \frac{1}{a}} \Leftrightarrow \frac{a+b}{2ab} > \frac{1}{\sqrt{ab}}$$

$$\therefore \frac{2ab}{a+b} < \sqrt{ab}$$

であり、左半分も示された。

(2) $ab = 111, a + b = \frac{232}{11}$ ($a < b$)

となる a, b は、解と係数の関係から逆算して、

$$x^2 - \frac{232}{11}x + 111 = (x - 11)\left(x - \frac{111}{11}\right) = 0$$

の2解であるから、

$$a = \frac{111}{11}, b = 11$$

である。これを(1)に代入すると、

$$\frac{2 \cdot \frac{111}{11} \cdot 11}{\frac{111}{11} + 11} < \sqrt{\frac{111}{11} \cdot 11} < \frac{\frac{111}{11} + 11}{2}$$

$$\therefore \frac{1221}{116} < \sqrt{111} < \frac{116}{11}$$

となる。

(3) (1) に $a = \frac{1221}{116}, b = \frac{116}{11}$ を代入すると、

$$\frac{2 \cdot \frac{1221}{116} \cdot \frac{116}{11}}{\frac{1221}{116} + \frac{116}{11}} < \sqrt{\frac{1221}{116} \cdot \frac{116}{11}} < \frac{\frac{1221}{116} + \frac{116}{11}}{2}$$

$$\therefore \frac{283272}{26887} < \sqrt{111} < \frac{26887}{2552}$$

となる。

問題 2. まず“Ⅰ)：計算による証明”を2つ与える。

解 1 $e > 2.7 = \frac{3^3}{10}, \pi > 3.125 = \frac{25}{8}$

$$\therefore e^\pi > \left(\frac{3^3}{10}\right)^{\frac{25}{8}}$$

より、 $e^\pi > 21$ を示すには、

$$\left(\frac{3^3}{10}\right)^{\frac{25}{8}} > 21 \Leftrightarrow 3^{75} > 21^8 \cdot 10^{25}$$

つまり、

$$3^{67} > 7^8 \cdot 10^{25} \dots\dots (*)$$

を示せば良い。さらに、

$$3^6 = 729 > 7 \cdot 10^2$$

$$\therefore 3^{67} = 3 \cdot (3^6)^{11} > 3 \cdot 7^{11} \cdot 10^{22}$$

より、(*)を示すには、

$$3 \cdot 7^{11} \cdot 10^{22} > 7^8 \cdot 10^{25}$$

つまり、

$$3 \cdot 7^3 > 10^3 \dots\dots (#)$$

を示せば良い。

$$3 \cdot 7^3 = 1029 > 1000$$

より、(#)が成り立つので、 $e^\pi > 21$ は成り立つ。

解 2 $3^{67} > 7^8 \cdot 10^{25} \dots\dots (*)$

を示せば良い。

$$7^2 = 49 < 50 = \frac{10^2}{2}$$

$$\therefore 7^8 \cdot 10^{25} < \frac{10^8}{2^4} \cdot 10^{25} = \frac{10^{33}}{2^4}$$

より、(*)を示すには、

$$3^{67} > \frac{10^{33}}{2^4} \Leftrightarrow 2^4 \cdot 3^{67} > 10^{33}$$

つまり、

$$4\log_{10}2 + 67\log_{10}3 > 33 \dots\dots (%)$$

を示せば良い。

$$2^{10} = 1024 > 10^3 \text{ より } 10\log_{10}2 > 3$$

$$3^4 = 81 > 2^3 \cdot 10 \text{ より } 4\log_{10}3 > 3\log_{10}2 + 1$$

$$\therefore \log_{10}2 > 0.3, \log_{10}3 > 0.475$$

となるから、

$$4\log_{10}2 + 67\log_{10}3 > 33.025 > 33$$

であり、(%)が成り立つ。よって、 $e^\pi > 21$ は成り立つ。

*

*

集中講義～数値の評価～

$$\sin \frac{\pi}{12} < \frac{\pi}{12} \quad \therefore \quad \pi > 12 \cdot \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4} > 3.066$$

が成り立つ (解 1 と同じ評価)。

注 3 次式を用いて上からの評価が可能である：

$$x - \frac{1}{6}x^3 < \sin x \quad (x > 0) \quad \dots\dots (\#)$$

を示そう。そのために、

$$g(x) = \sin x - x + \frac{1}{6}x^3 \quad (x \geq 0)$$

とおく。すると、

$$g'(x) = \cos x - 1 + \frac{1}{2}x^2,$$

$$g''(x) = -\sin x + x = f(x) > 0 \quad (x > 0)$$

から、 $g'(x)$ は単調増加で、 $g'(0) = 0$ より、

$$g'(x) > 0 \quad (x > 0)$$

が成り立つ。 $g(x)$ は単調増加で、 $g(0) = 0$ より、

$$g(x) \geq 0 \quad (x \geq 0) \quad (\text{等号は } x=0 \text{ でのみ成立})$$

であり、 $(\#)$ が成り立つ。 $x = \frac{\pi}{6}$ として、

$$\frac{\pi}{6} - \frac{1}{6} \cdot \left(\frac{\pi}{6}\right)^3 < \sin \frac{\pi}{6} = \frac{1}{2}$$

$$\therefore \quad \pi < 6 \left\{ \frac{1}{2} + \frac{1}{6} \cdot \left(\frac{\pi}{6}\right)^3 \right\} = 3 + \left(\frac{\pi}{6}\right)^3$$

となる。ここで、単位円と外接正方形の周の長さを比較して、 $\pi < 4$ であるから、

$$\pi < 3 + \left(\frac{4}{6}\right)^3 < 3.3$$

となる。さらに、 $\pi < 3.3$ を代入して、

$$\pi < 3 + \left(\frac{3.3}{6}\right)^3 < 3.167$$

となる (これを繰り返しても近似には限界があり、収束する値は、 $x = 3 + \left(\frac{x}{6}\right)^3$ の解 (≈ 3.1438) である)。

* * *

解 1, 2 の考え方は順に “Ⅲ”, “Ⅱ” である。最後に、「2006 年広島大」を参考にした解答を挙げる。

解 3 $\pi > \frac{8-\sqrt{3}}{2} (= 3.13\dots\dots)$

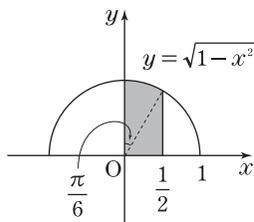
を示せば十分である。

まず、 O を中心とする単位円の第 1 象限の部分と、

x 軸, y 軸, 直線 $x = \frac{1}{2}$ で

囲まれる部分の面積 S は

$$S = \frac{\pi}{12} + \frac{\sqrt{3}}{8}$$



である。また、 $(0, 1)$ が頂点で、点 $\left(\frac{1}{2}, \frac{\sqrt{3}}{2}\right)$ を通る放物

線 $C: y = 1 - (4 - 2\sqrt{3})x^2$ と x 軸, y 軸, 直線 $x = \frac{1}{2}$ で囲まれる部分の面積 T は

$$\begin{aligned} T &= \int_0^{\frac{1}{2}} \{1 - (4 - 2\sqrt{3})x^2\} dx = \left[x - \frac{4 - 2\sqrt{3}}{3} x^3 \right]_0^{\frac{1}{2}} \\ &= \frac{1}{3} + \frac{\sqrt{3}}{12} \end{aligned}$$

である。

次に、放物線 C の $(0, 1)$ と $\left(\frac{1}{2}, \frac{\sqrt{3}}{2}\right)$ の間の部分が、

単位円より下にあること、つまり、

$$1 - (4 - 2\sqrt{3})x^2 \leq \sqrt{1 - x^2} \quad \left(0 \leq x \leq \frac{1}{2}\right)$$

が成り立つことを示す。

両辺正より、2 乗の差をとると、

$$\begin{aligned} &(\sqrt{1 - x^2})^2 - (1 - (4 - 2\sqrt{3})x^2)^2 \\ &= (1 - x^2) - (1 - 2(4 - 2\sqrt{3})x^2 + (28 - 16\sqrt{3})x^4) \\ &= (7 - 4\sqrt{3})(1 - 4x^2)x^2 \\ &\geq 0 \quad \left(\because 0 \leq x \leq \frac{1}{2}, 4\sqrt{3} < 7\right) \end{aligned}$$

となるので、成り立つ。

上下関係から、 $S > T$ となるので、

$$\frac{\pi}{12} + \frac{\sqrt{3}}{8} > \frac{1}{3} + \frac{\sqrt{3}}{12}$$

$$\therefore \quad \pi > \frac{8 - \sqrt{3}}{2} > 3.13$$

が成り立つ。以上で示された。

* * *

最後に、面積を用いて、上から評価してみよう。

放物線 $y = 1 - \frac{1}{2}x^2$ は、頂点が $(0, 1)$ であり、

$$\left(1 - \frac{1}{2}x^2\right) - (\sqrt{1 - x^2})^2 = \frac{1}{4}x^4 \geq 0$$

より、単位円よりも上にある。

$y = 1 - \frac{1}{2}x^2$ と x 軸, y 軸, 直線 $x = \frac{1}{2}$ で囲まれる部分の面積 U は

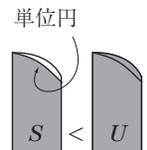
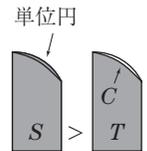
$$U = \int_0^{\frac{1}{2}} \left(1 - \frac{1}{2}x^2\right) dx = \left[x - \frac{1}{6}x^3\right]_0^{\frac{1}{2}} = \frac{23}{48}$$

である。 $S < U$ より、

$$\frac{\pi}{12} + \frac{\sqrt{3}}{8} < \frac{23}{48}$$

$$\therefore \quad \pi < \frac{23 - 6\sqrt{3}}{4} < 3.152$$

と、上から評価できる。



(よした のおお, 予備校講師)